

CCUS早期社会実装のための環境調和の確保及び脱炭素・循環型社会モデル構築事業



【令和6年度予算額 5,500百万円（7,500百万円）】



CCUS（CO₂の分離回収・有効利用・貯留）の技術を確立するとともに、実用展開に向けた実証拠点・サプライチェーン構築に向けて取り組みます。

1. 事業目的

2030年のCCUSの本格的な社会実装と環境調和の確保に向けて、商用化規模におけるCO₂分離回収・有効利用技術の確立等を通じ、サプライチェーン及び脱炭素・循環型社会モデルの構築を目指して取り組む。

また、海洋汚染等防止法の適切な運用により、効率的、円滑なCCSの導入を促すため、海底下CCS事業におけるCO₂圧入や貯留状況に応じた適正で低コストかつ効率的なモニタリング技術の適用方法の確立を行う。

2. 事業内容

(1) 環境配慮型CCUS実証拠点・サプライチェーン構築事業

CO₂分離回収設備の実証等の運用・評価実績と、未だ実用化されていない浮体式洋上圧入技術の検討を基に、CCSの実用展開のためのサプライチェーンの構築を目指し、CO₂輸送・貯留等の実現性検討を通じた関連技術・ノウハウの涵養等を行う。また、CCUの実証等を通じ、CCU技術を確立するとともに脱炭素・循環型社会モデルを構築する。

(2) 海洋環境保全上適正な海底下CCS実施確保のための総合検討事業

苫小牧沿岸域にて実施される海底下CCS実証事業や新たなCCS事業が、環境と調和した上で迅速にかつ適切に実施されるよう、BATを活用した適正なモニタリングの在り方について、環境負荷が少なく自然再興（ネイチャーポジティブ）、コスト低減等に資する物理（電磁）探査システムや環境DNAにおけるモニタリング技術などの開発、検討を行う。



◆ CO₂分離回収

3. 事業スキーム

- 事業形態：委託事業
- 委託先：民間事業者・団体、大学、公的研究機関 等
- 実施期間：（1）平成26年度～令和7年度、（2）令和3年度～令和7年度

4. イメージ

CCUSのサプライチェーンのイメージ



◆ CCSモニタリング

◆ CO₂の有効利用
(化成品の合成等)

◆ 輸送・貯留